

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19030-1	体育・文化活動支援事業(中学校費)	室名	教育研究室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款 教育費
	施策の方向	03:学力・体力の向上と豊かな心を育む教育の推進	科	項 中学校費
戦略プロジェクト		目	目 教育振興費	

② 目的・概要	対象	亀山市内各中学校
	目的・概要	・成長期にある生徒に優れた芸術を鑑賞する機会を確保し、豊かな創造性、情操の涵養と生徒の芸術活動充実・向上に資するために、優れた演奏会等を実施して芸術文化振興と生徒の健全育成を図る。

				24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	① 補足	名称	生徒に関する演劇の開催	計画値		
			実績値	170	520	598	
		単位	人	人	人		
	② 補足	名称	亀山市小中学校音楽会の開催	計画値			
		実績値	297	328	310		
	単位	人	人	人			
成果	① 補足	名称	芸術文化活動に対する生徒の肯定評価	計画値			
		実績値	80	85	86		
	単位	%	%	%			

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					亀山中学校において、俳優 藤本隆宏による講演を実施した。小中音楽会では、新居由佳梨ピアノコンサートを招待演奏として開催した。			
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	370	平均給与額×③
		事業費		807	761	一般職員人件費 ②	370	
		国庫支出金				所要人員 ③	0.05	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤	0	
		その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源		807	761			
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
	総人件費		①	370				
	総コスト		⑥	1,131				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	・招待演奏では、プロのピアニストによる生演奏に触れることで、より豊かな音楽体験を得ることができた。 ・講演会では、自らの努力や困難の克服を通して夢を実現した体験談を聴く事で、生徒たちの、今後の生き方学習や進路選択への意欲関心を高めることができた。	A
		順調に進んだ
【反省点・課題】	・生徒の発達段階を踏まえつつ、地域で文化・芸術的な活動、芸能活動等を行っている方々を活かした取組をすすめていく必要がある。	
【改善の方向性】	・成長期にある生徒に優れた音楽、伝統文化を鑑賞させる機会を持つため、関係部局との連携を図りつつ、生徒の実態に合った演奏者の選定等を行っていく。	
事業目的の妥当性: 適切 有効性: 適切 最終評価確認者: 教育研究室長 伊達 弘		